

街路樹検討ワークショップ

～みんなで育む茨木市の街路樹～

ニュースレター



令和7年4月発行

ワークショップの目的

茨木市では約7,000本の街路樹を管理しており、中には樹齢40年を超えるものもあります。老齢化など様々な問題が原因となり樹木の健全性が低下し、安全性や景観の面でも問題が生じています。近年では、各地で安全性に問題のある街路樹が原因となった事故なども起きており、全国的に適切な樹木管理が求められてきています。

そのような中、茨木市においても街路樹を適切に管理していくため、「街路樹再整備方針」を策定しようと考えています。この方針は、街路樹の現状を把握し、路線ごとに樹木の管理する方向性を決め、問題のある樹木の植替え、伐採をすることで、質の高い街路樹を整備していくというものです。

ワークショップでは、方針策定にあたり、みなさんに意見を出し合ってもらい、一緒に考え、方向性を導き出します。その結果を反映して、ニーズに合った方針を計画することを目的にワークショップを開催しました。

第1回

令和7年2月16日(日)

茨木市の街路樹について
知ろう・話そう

時間：10:00～12:00

場所：茨木市役所南館8階 中会議室

参加人数：22名

当日のスケジュール

1. 開会
2. 大阪産業大学 川口教授による
『街路樹の価値や効果』についての講演
3. 『街路樹の現況と課題』についての説明
4. グループワークショップ
5. グループごとの発表・総括
6. 閉会



第2回

令和7年3月2日(日)

これからの茨木市の街路樹について
考えよう

時間：10:00～12:00

場所：茨木市役所南館8階 中会議室

参加人数：16名

当日のスケジュール

1. 開会
2. 第1回ワークショップの振り返り
3. グループワークショップ
4. グループごとの発表・総括
5. 樹木医による街路樹点検方法のレクチャー
6. 閉会



第1回ワークショップ



茨木市の街路樹について知ろう・話そう

はじめに、大阪産業大学川口先生から、「街路樹のもつ様々な価値や効果について、全国の街路樹の事例等を交えて紹介いただきました。その後事務局から茨木市の街路樹の現況と課題について、昨年度の調査結果を踏まえてお話ししました。グループワークでは5つのグループに分かれて、それぞれの議題に沿って、お話を聞かせていただきました。

POINT 1

茨木市の街路樹の良いイメージ・悪いイメージについて意見を共有する

ふせんに、茨木市の街路樹の「良いイメージ」と「悪いイメージ」をそれぞれ書き出して、発表していただきました。街路樹についての様々な意見が集まりました。

POINT 2

各グループで良いイメージのベスト3 悪いイメージのワースト3を選定する

出た意見をもとに、最も良いと思うイメージや最も悪いと思うイメージについて話し合い、ベスト3とワースト3を決定しました。

各グループの意見のまとめ

グループ名は茨木市内の主要な街路樹の名前です！

良いイメージ

- 1位：季節が感じられる
- 2位：景観
- 3位：環境



カシ
グループ

良いイメージの意見がたくさん集まりました。美しい街路樹を見ることがメンタル面で非常に効果があると思います。癒し効果や、思い出や記憶に残ります。物理的にも雨よけや風よけ、日陰等の環境面での効果もあります。また、制限のある中に街路樹は植栽されているので、管理費用がかかることが、悪いイメージとして挙がりました。

悪いイメージ

- 1位：樹形
- 2位：管理費用
- 3位：見通しが悪い

ケヤキ
グループ



良いイメージ

- 1位：四季を感じる
- 2位：暑さ、寒さをしのげる
- 3位：生き物の棲み処

美しいイチョウ並木を期待して見にいったのに、強い剪定がされていて見ることができず、残念だったことがあります。落葉と剪定の問題は、切り離せないと思います。また、生活する中で「四季を感じる」ことは非常に重要だと思います。

悪いイメージ

- 1位：落ち葉が大変
- 2位：剪定の残念さ
- 3位：交通阻害

良いイメージ

- 1位：日陰を作ってくれる
- 2位：癒し効果
- 3位：安全、安心



サクラ
グループ

街路樹があることで車道からの飛来物の緩衝帯になっていて、守られている安心感があります。また、昨今の気候変動による猛暑時には、木陰は大事という意見がありました。悪いイメージでは夏のセミの鳴き声が早朝からうるさすぎる！という意見が出ました。

悪いイメージ

- 1位：地面のでこぼこ
- 2位：景観の悪化
- 3位：虫と鳥の害

ハナミズキ
グループ



良いイメージ

- 1位：桜がきれい
- 2位：果実のできる樹木によるレクリエーション
- 3位：やすらぎを感じる

どんぐりの木があると、幼稚園児が拾って楽しめたりそこからコミュニケーションが生まれたりすることがあります。木を見てやすらぎを感じることができるのも良いです。樹木が元気に育って、車いす利用者のことも考慮したニーズに合った街路樹空間が必要だとも思います。

悪いイメージ

- 1位：狭い箇所への植栽
- 2位：落ち葉
- 3位：木陰が感じられない

良いイメージ

- 1位：景観が良い
- 2位：ストレス軽減
- 3位：四季を感じる



イチョウ
グループ

「青空にケヤキの木が映える」「春の桜並木」「ビル街の並木」等の街路樹景観の良いイメージの意見が多数でした。また、根上がりによる道路のでこぼこや、落葉で滑りやすくなっていることが悪いイメージ。高齢化が進む中で、歩行者が転ぶ恐れがあるので心配です。

悪いイメージ

- 1位：根上り
- 2位：落ち葉
- 3位：害虫

大阪産業大学 川口教授のコメント

短時間でたくさんのポジティブな意見がでてすばらしかったです！みなさんの意見の中から以下の3つのキーワードが聞き取れました。

①感じる

季節を感じることにに対して街路樹が貢献している！という意見が多かったように思います。

②歩く

「でこぼこの道が困る」といった意見が多数出ましたが、この意見から皆さんが、「安心してゆっくり楽しみながら歩きたい」という思いがあることが感じられました。

③話す

街路樹の小さな変化やきっかけから、コミュニケーションが生まれるという意見がありました。

悪いイメージと良いイメージは「表裏一体」街路樹の適切な管理方法をみんなで探っていきましょう。



そのほか、立命館大学 李教授(AIS研究室)から、「道路脇におけるロボット除草システムの開発」の研究について話をいただきました！

第2回ワークショップ



これからの茨木市の街路樹について考えよう

まず事務局から第1回のワークショップで出た主な意見についてご説明し、振り返りをしました。グループワークでは4つのグループに分かれて、次の3つのことについて話し合ってくださいました。ワークショップの後半は、樹木匠による街路樹点検のポイントについてレクチャーの時間を設けました。

POINT
1

第1回ワークショップで出た意見の「良いイメージ」「悪いイメージ」について振り返る

第1回ワークショップで出た主な意見や各班のベスト3やワースト3を確認しました。

POINT
2

良いイメージをさらにより良くする方法として「イメージ向上プラン」 悪いイメージを解決するための方法として「イメージ改善プラン」について考える

ふせんに、「イメージ向上プラン」と「イメージ改善プラン」をそれぞれ書き出して、発表していただきました。様々な提案をいただきました。

POINT
3

茨木市の街路樹をより良いものにするための「理想像・テーマ」を設定する

出た意見をもとに、茨木市の街路樹をより良いものにするには、どうしたらよいのか、最も重要な視点を「理想像・テーマ」として設定しました。

グループワークショップの 使用アイテム



アイデアを出すための材料として様々な樹種や街路樹の写真を用意しました。

各グループの意見のまとめ



テーマ・理想像

みんなで楽しく創るみんなの街路樹

街路樹が、「ただまちにあるもの」という意識から「自分たちのもの」という意識へ変わっていき、良いと考えました。そのためには、市民や企業が主体的に関われる仕組みが必要で、具体的には、楽しいイベントや、情報発信があれば、市民の理解につながるという意見が挙がりました。

グループの主な意見

イメージ
向上
プラン

ソフト面

<街路樹の価値・効果について認識向上に向けた提案>

- ・街路樹の効果、費用を見える化する
- ・SNS等の情報発信強化 ・QRコードで木の説明
- ・イベント開催 ・通りに名称をつける

<コミュニティ形成の促進に向けた提案>

- ・街路樹を中心としたコミュニティの形成
- ・市民、事業者、市のみんなで計画、維持、管理する仕組み
- ・市民が街路樹の維持などに主体的に関われるようにする

イメージ
改善
プラン

ソフト面

<安全対策> ・道路でこぼこの箇所は看板などで注意喚起

<落ち葉対策>

- ・落ち葉を使ったイベント、レクリエーション(やきいも)の実施
- <維持管理費用面の対策>
- ・企業の参加で費用サポート

ハード面

<落葉対策>

- ・常緑樹を増やす

<樹形と緑陰形成に関する対策>

- ・木に優しい樹形管理が必要
- ・自然な樹形を形成する



テーマ・理想像

茨木市の街路樹に愛着を持てるしくみづくり

景観に関する取り組みや子どもを対象とした環境学習、道路にあだ名をつける等を実施して街路樹に愛着を持てる仕組みづくりが重要という意見でまとまりました。また、街路樹整備については、空間に適した樹種の選定や、管理のメリハリが大事といった意見が挙げられました。

グループの主な意見

イメージ
向上
プラン

ソフト面

<街路樹の価値・効果について認識向上に向けた提案>

- ・子どもが街路樹に関わる仕組みとして環境学習の題材にしてはどうか
- ・市民と一緒に樹種選定、植樹する ・道にあだ名をつける

ハード面

<街路樹景観のイメージアップに向けた提案>

- ・景観的に美しい樹木や花がつく常緑樹の植栽
- <施設整備による利用促進のための提案>
- ・ウォーキングする人の為の休憩ポイントを作る

イメージ
改善
プラン

ソフト面

<安全対策> ・危険木の情報共有システムがあったら良い

<落ち葉対策>

- ・落ち葉の掃除を子どもも参加できるように学校単位で実施する
- <市民への情報共有についての提案>
- ・伐採する樹木について市民への周知が必要

ハード面

<街路樹の生育環境に関する対策>

- ・狭い道の街路樹は無くしたり、空間にあった整備を実施する
- ・重点的に整備する箇所と、そうでないところを区分し管理にメリハリを



次ページへ続く▶▶



テーマ・理想像

街路樹のアイドル化！

街路樹7000本に名前をつけて、街路樹をアイドル化する計画を考えました。ファンを増やすための取組みとして、街路樹の良さを知ってもらうための情報誌や街路樹のデータ化等の取組みについての意見が出ました。また、ファンからのおおずかいは維持管理費用にあてます！

グループの主な意見

イメージ向上
プラン

ソフト面

- ＜街路樹の価値・効果について認識向上に向けた提案＞
- ・市と学校で連携し、街路樹の授業をする等、意識を向上する教育の実施
- ・市民に街路樹情報を発信 ・落葉樹の良いところをPR

イメージ改善
プラン

ソフト面

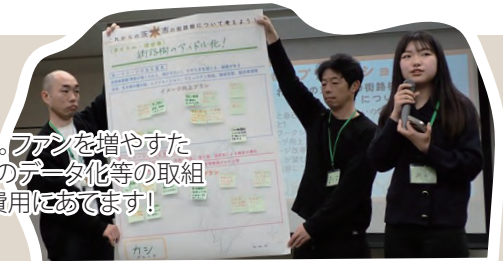
- ＜安全対策＞ ・危険木の情報共有システムがあったら良い
- ＜落葉対策＞
- ・落葉の掃除を子供も参加できるように学校単位で実施する
- ＜市民への情報共有についての提案＞
- ・伐採する樹木について市民への周知が必要

ハード面

- ＜街路樹景観のイメージアップに向けた提案＞
- ・景観にこだわった名所をつくる
- ＜施設整備による利用促進のための提案＞
- ・より安らぎを感じてもらえるよう休憩スペースを作る

ハード面

- ＜虫や鳥の害への対策＞
- ・鳥の害を優しく避ける方法の検討



テーマ・理想像

地域で作り、はぐくむ街路樹

地域のシンボルとなる木を決めて植えることで、より愛される街路樹となるのではないかと意見が出ました。みんなで決めた街路樹であれば、関心・興味をもってもらえるのではないかと思います。また、スペースが限られている場所には鉢植えを用いてはどうかとの提案がありました。

グループの主な意見

イメージ向上
プラン

ソフト面

- ＜街路樹の価値・効果について認識向上に向けた提案＞
- ・街路樹マップアプリを作り、ガイドツアーをする
- ・街路樹を用いたイベントをする
- ＜新たな利活用方法の提案＞
- ・特産物をつくる ・落ち葉で肥料づくり

イメージ改善
プラン

ソフト面

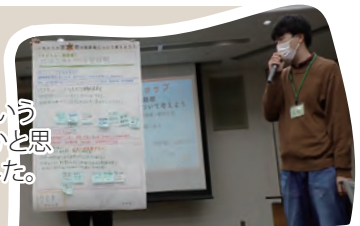
- ＜落葉対策＞
- ・地域の人々(住民)で落ち葉を拾う(落ち葉の苦情による強剪定対策として)

ハード面

- ＜街路樹の価値・効果について認識向上に向けた提案＞
- ・地域(地区ごと)のシンボルとなる木を決める 植える
- ・樹種は住民が選んではどうか
- ・みんなで決めて植えた街路樹なので、関心・興味を持つ

ハード面

- ＜安全対策＞
- ・歩道の根上がり対策として、地植えではなく植木鉢に植える(駅前等) ・地植え以外の樹木を移動できる方法の検討
- ＜樹形管理の対策＞
- ・高木植栽に支障がある場合は、背の低い木等を植える



樹木医による街路樹点検方法のレクチャー

身の回りの街路樹の点検方法についての講習を実施しました。

危険な樹木点検表



枯れている樹木や、枯れている大きな枝、近隣都市で大きな被害となっている「クビアカツヤカミキリ」等見かけたら、お知らせください！

右表のような危険な樹木を発見したらこちらのQRコードからお問い合わせいただけます



枯木		1～2年で倒れる木は少ないです	根元のきのこ			夏から秋(古いきのこはほぼ年中見られる)
枯れ枝・ぶら下がりの枝		腕より大きなサイズ	クビアカツヤカミキリ(害虫)			近隣都市で大きな被害
大きな腐朽や空洞		頭より大きなサイズ	幹の傾き			急に傾いた街路樹

そのほか、立命館大学経営学部の学生から、「街路樹とバイオ炭でつくるみどりのまち」の研究について話をいただきました！

2回にわたるワークショップを通して、街路樹に対する意見や考えなど、市民のみなさまの声を聞くことが出来、みなさまが街路樹を大事に思ってくれる気持ちが伝わるととても良いワークショップになりました。街路樹管理を進めるうえで、たくさんの人に愛着をもってもらえるよう、市民のみなさまが関わりやすい仕組みづくりが重要であることがわかりました。

これらの意見を踏まえて、今後の街路樹の方針を策定していき、茨木市の街路樹がより良いものになるよう計画を進めていきます。参加いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました！

今後の予定

ワークショップ

令和7年
2月16日(日)
3月2日(日)
【実施済み】

街路樹再整備方針 計画策定

令和7年度予定

お問い合わせ先

【E-mail】 kensetsukanri@city.ibaraki.lg.jp

【電話】 072-620-1650 〈茨木市建設部建設管理課〉(受付時間：8:45～17:15)